

1965年

臨時國勢調查報告

第1卷 沖繩總括編

琉球政府企画局統計庁

ま え が き

国勢調査は大正9年(1920年)の第一回国勢調査以来、10年目ごとに大規模な調査が、また中間の5年目には臨時国勢調査が定期的にくりかえし実施されている。1965年調査はこの臨時国勢調査である。

国勢調査は戦前に於ては日本政府管下の1県として実施されたが、戦後は沖縄自体で実施されている。調査の時期は戦後1950年、1955年、1960年の3回については12月1日現在で調査された。しかし、1965年臨時国勢調査においては本土に準じ10月1日現在で実施された。

調査の結果については、1965年11月30日に速報人口を、1966年4月30日に確定人口を公表したのにつづいて第2巻地区編として、1967年3月20日にその第1号北部地区、6月10日に第4号那覇地区、6月25日に第2号中部地区、1967年11月1日に第3号南部地区、12月1日に第5号宮古地区、八重山地区編として報告書を刊行した。

本報告書は最終的報告書としての総括編であつて沖縄の人口、社会的、経済的構造を明らかにするとともに従前の国勢調査結果と対比し、その変動について若干の解説を加えてあるが各般の基本資料として広く利用されることを念願する。

本報告書の刊行にあたり調査の企画から実施までいろいろ御協力くださった住民各位、関係各局および市町村の関係各位に対し探甚な謝意を表する次第である。

第 1 巻	沖縄総括編
第 2 巻	地 区 編
第 1 号	北部地区
第 2 号	中部地区
第 3 号	南部地区
第 4 号	那覇地区
第 5 号	宮古地区、八重山地区

1968年6月

琉球政府企画局統計庁長 上 地 康 夫